

2019年3月期第3四半期 決算説明資料

2019.2.4

TIS株式会社

Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

(2019年2月4日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・TISの安達です。よろしくお願いいたします。

2019年3月期第3四半期（累計） 業績概要**2019年3月期 業績見通し****参考資料**

- ・それでは、本日15時半に発表いたしました、当社の第3四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

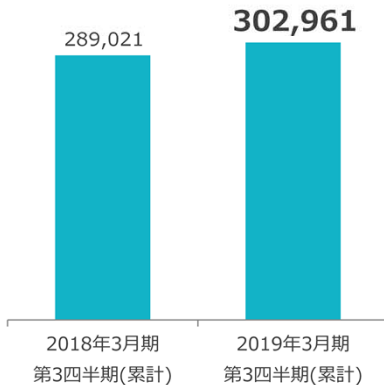
2019年3月期第3四半期（累計） 業績ハイライト

（単位：百万円）

・良好な事業環境を背景に、事業拡大や収益向上の取組み等により、前年同期比増収増益。

売上高

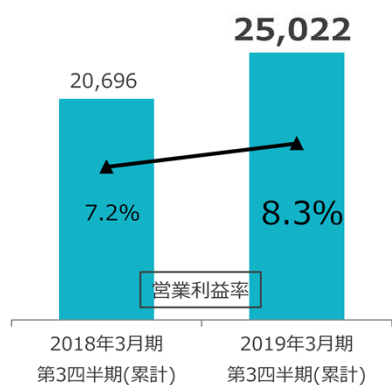
● 前年同期比+13,940百万円（+4.8%）



IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比増収。

営業利益

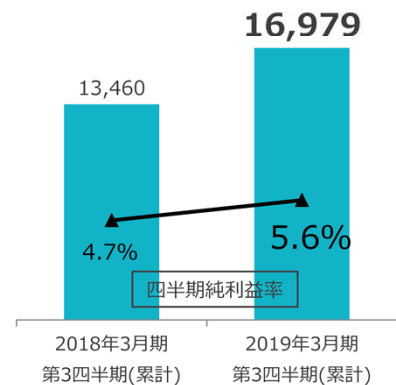
● 前年同期比+4,326百万円（+20.9%）



増収効果や収益性向上による売上総利益の増加が、構造転換に向けた対応強化に伴う販管費の増加を吸収し、前年同期比増益。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

● 前年同期比+3,519百万円（+26.1%）



営業利益の増加及び特別損益の改善に伴い、前年同期比増益。

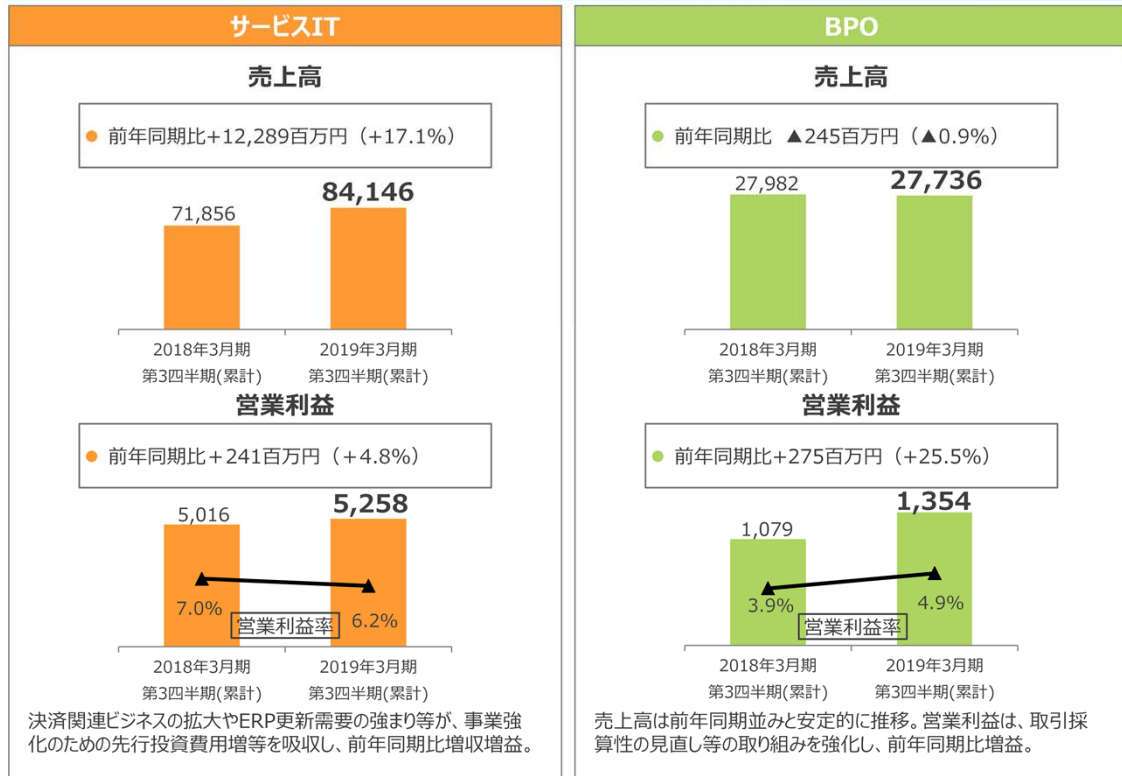
Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

3

- ・まず、3ページをご覧ください。
- ・当第3四半期累計期間の業績は、上期に引き続き全体としては好調な決算となりました。
- ・売上高については3,029億円と、IT投資が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比で139億円・4.8%の増収となりました。
- ・営業利益は前年同期比43億円・20.9%増の250億円となり、営業利益率は7.2%から8.3%に向上しました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益についても同じように大きく増加し、前年同期比35億円・26.1%増の169億円となりました。

2019年3月期第3四半期（累計） 主要セグメント別損益状況①

（単位：百万円）



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

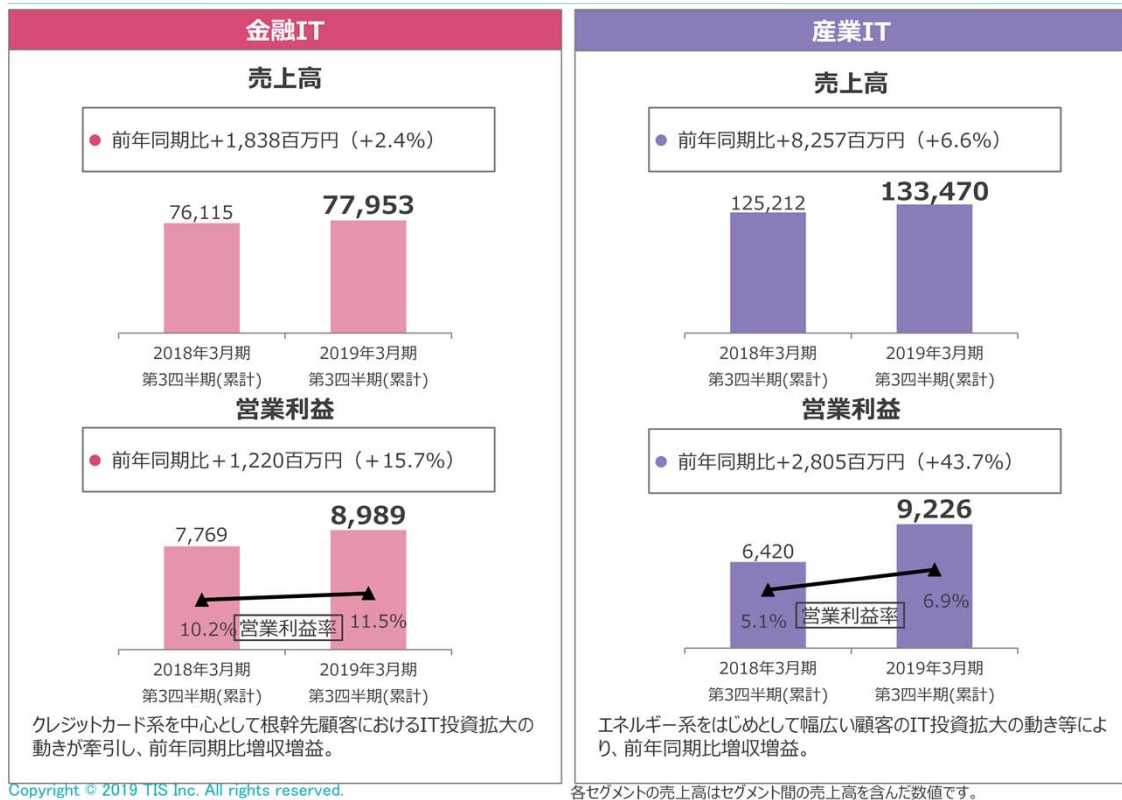
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

4

- ・続いて、当期から変更した新しいセグメント別の状況です。
- ・セグメント別の状況についても、上期の傾向と大きく変わりはありません。
- ・サービスITは、決済関連ビジネスの拡大やERP更新需要の強まり等が、事業強化のための先行投資費用増等を吸収し、売上高は前年同期比17.1%増の841億円、営業利益は前年同期比4.8%増の52億円となりました。
- ・BPOは、売上高は前年同期比0.9%減の277億円とほぼ前年同期並み、安定的に推移しました。営業利益は、取引採算性の見直し等の取り組みを強化したことから、前年同期比25.5%増の13億円となりました。

2019年3月期第3四半期（累計） 主要セグメント別損益状況②

（単位：百万円）



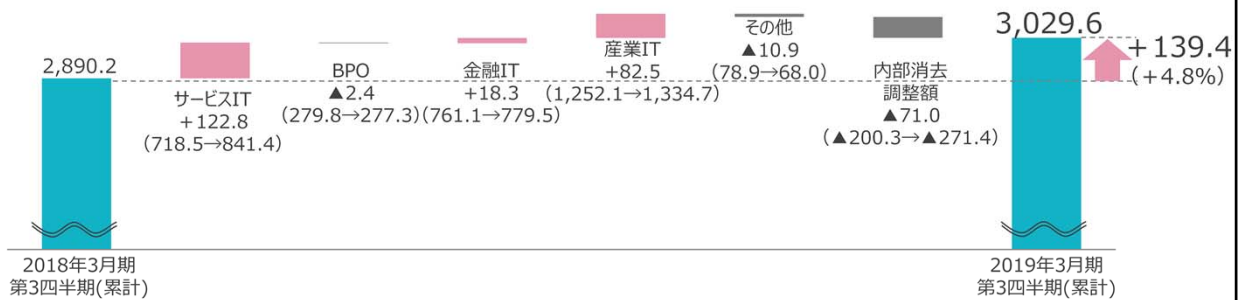
5

- ・5ページは金融ITと産業ITです。
- ・金融ITは、クレジットカード系を中心として、根幹先顧客におけるIT投資拡大の動きが牽引し、売上高は前年同期比2.4%増の779億円、営業利益は前年同期比15.7%増の89億円となりました。
- ・産業ITは、エネルギー系や根幹先製造業をはじめとする幅広い顧客のIT投資拡大の動き等により、売上高は前年同期比6.6%増の1,334億円、営業利益は前年同期比43.7%増の92億円となりました。

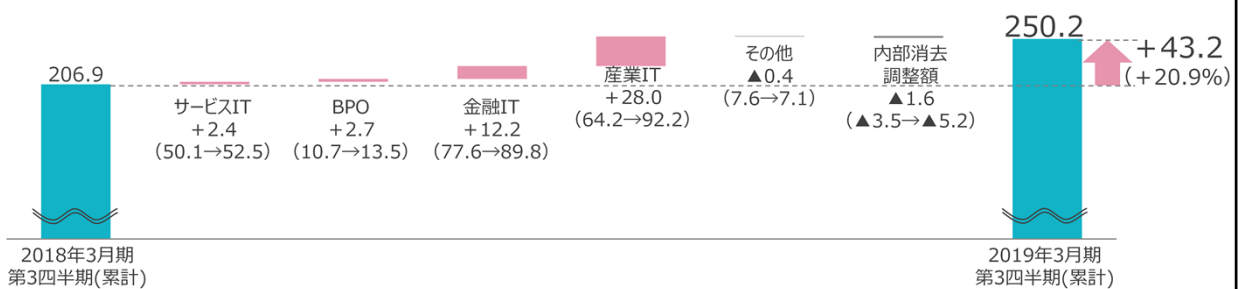
2019年3月期第3四半期（累計） 売上高・営業利益増減分析

（単位：億円）

売上高



営業利益



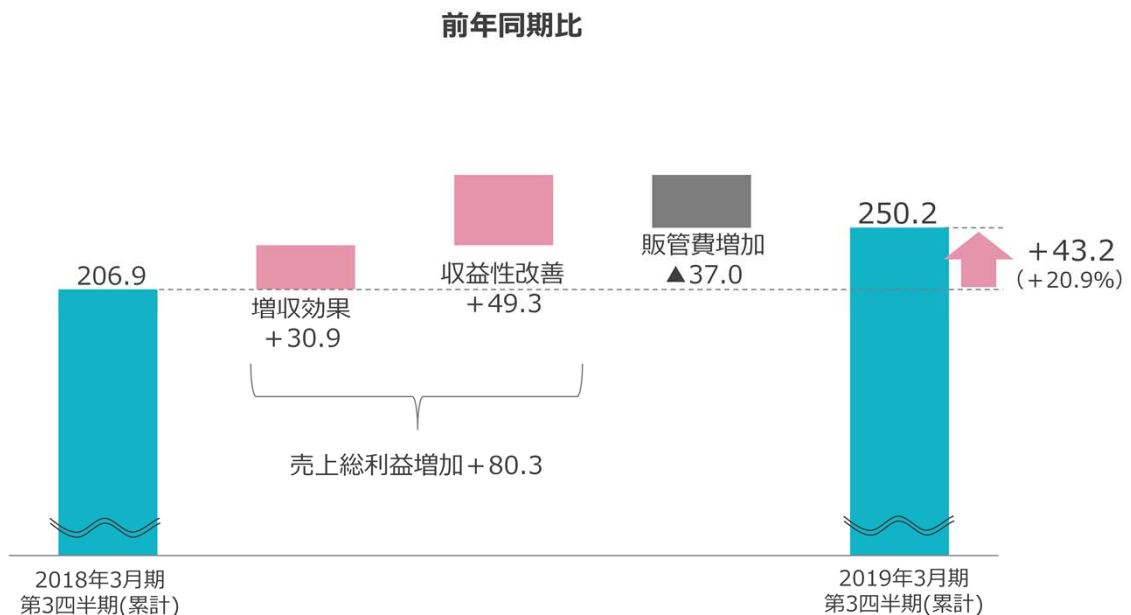
Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

6

（説明省略）

2019年3月期第3四半期（累計） 営業利益要因別増減分析

（単位：億円）



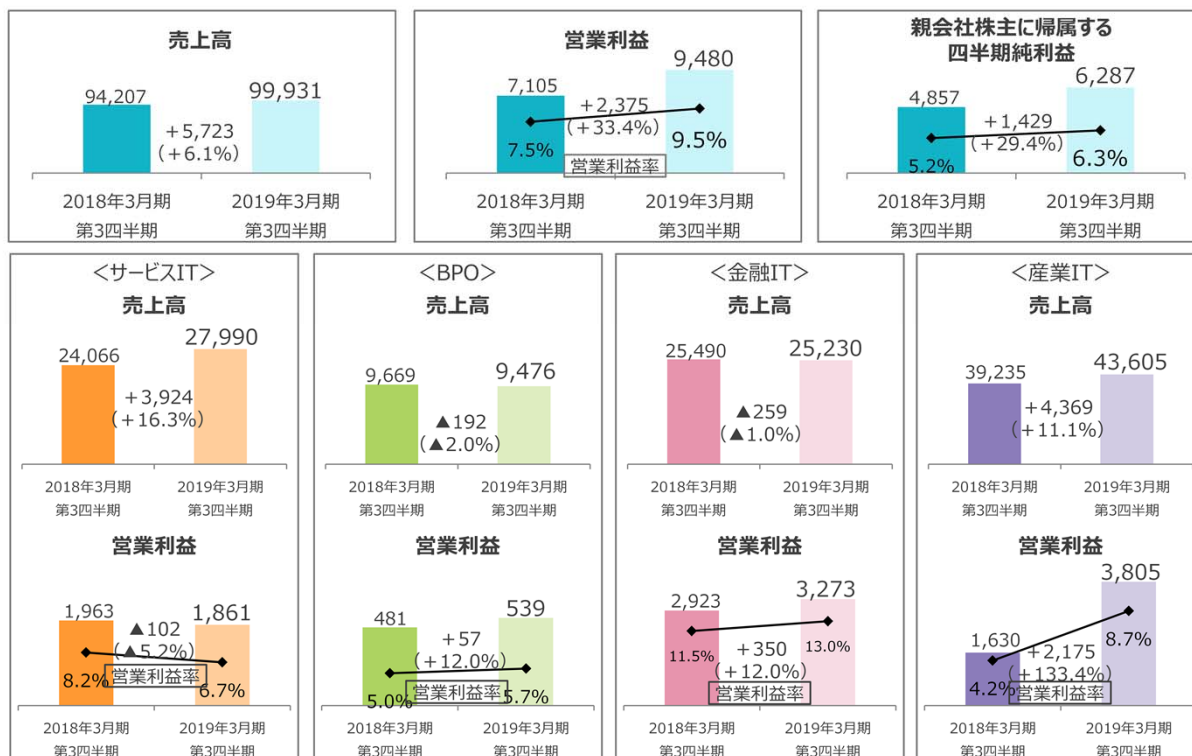
Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

7

- ・7ページは、営業利益の要因別増減分析です。
- ・当第3四半期累計期間では、前年同期に比べて、増収効果で30.9億円の利益増、収益性改善で49.3億円の利益増の結果、売上総利益が80.3億円増加し、これが販管費の37.0億円増加を吸収して、営業利益が43.2億円増加しました。
- ・なお、売上総利益率は第3四半期累計期間では21.9%、直近3カ月で見ますと23.1%にまで高まりました。
- ・販管費の増加は、構造転換に向けた対応強化による費用増が中心であり、中長期的な成長に資する前向きなものだと考えています。
- ・なお、不採算案件ですが、当第3四半期は約4億円、9カ月累計では約11億円と、引き続き低水準に抑制することができました。

(参考) 2019年3月期第3四半期
業績ハイライト・主要セグメント別損益

(単位: 百万円)



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

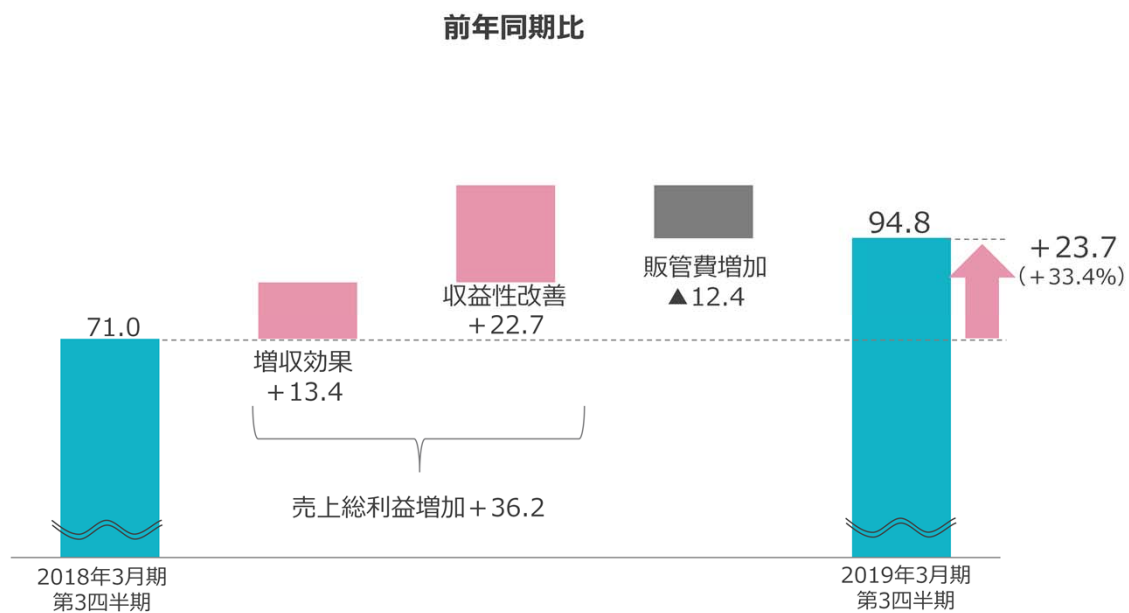
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

8

- ・8ページは直近3カ月の業績です。こちらも増収増益と好調でした。
- ・BPOおよび金融ITの売上高が前年同期に比べてやや減少したものの、サービスITと産業ITは大きく伸びており、全体としては堅調だったと考えています。
- ・金融ITの売上の減少は、カード系大型案件の反動減による影響が大きいですが、案件終息を踏まえて戦略的なリソース再配置を加速させた結果、サービスITの売上増加に寄与したと考えています。
- ・また、サービスITの営業利益は、前年同期に比べてやや減少していますが、まだ先行投資フェーズということもあり、中長期的な視点で見れば、収益性向上が実現できると期待しています。

(参考) 2019年3月期第3四半期
営業利益要因別増減分析

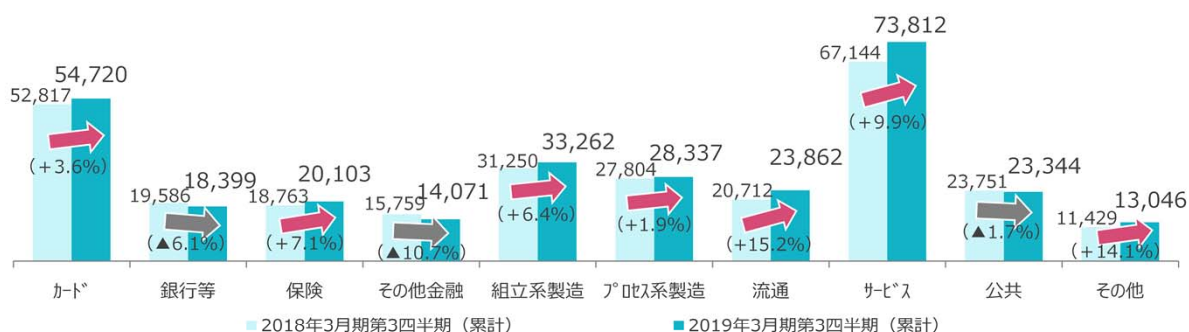
(単位：億円)



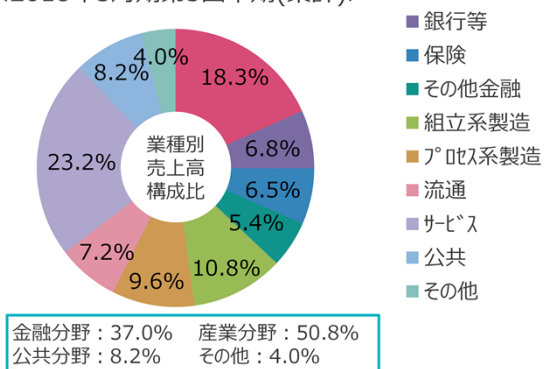
(説明省略)

2019年3月期第3四半期（累計） 顧客業種別売上高

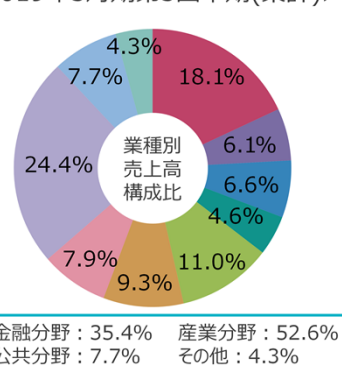
（単位：百万円）



<2018年3月期第3四半期(累計)>



<2019年3月期第3四半期(累計)>



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

10

- ・続いて10ページをご覧ください。
- ・顧客業種別売上高の状況も、上期の時と傾向は大きく変わっておりません。
- ・左側の金融系ですが、カードは大型案件の反動減の影響があるものの、根幹先を中心に引き続き好調、保険は大手生保をはじめとして幅広く増加しました。銀行は反動減やピークアウトで前年同期比マイナスでしたが、根幹先のメガバンクは増加しました。
- ・産業系では、製造はERP系等が引き続き好調、流通は増加に転じ、サービスはエネルギー系をはじめとして幅広く積み上がりました。公共の減少は前期に終了した大型案件の影響によるものです。

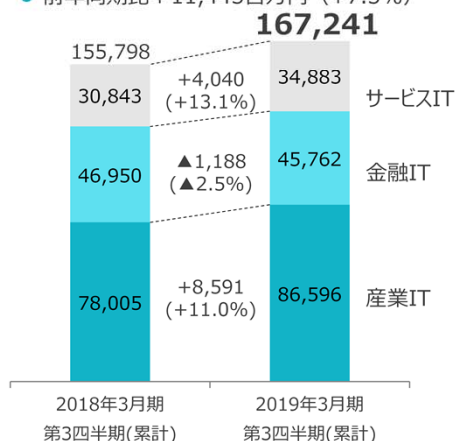
2019年3月期第3四半期（累計） 受注状況（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）

・金融ITにおける大型案件反動減及び受注時期のずれの影響を吸収し、当期受注高、期末受注残高とも前年同期比増加。決済、ERP、エネルギー系などを中心に好調に推移。

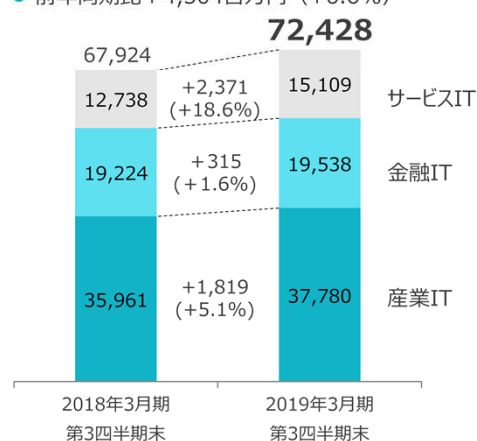
受注高

● 前年同期比 + 11,443百万円 (+7.3%)



期末受注残高

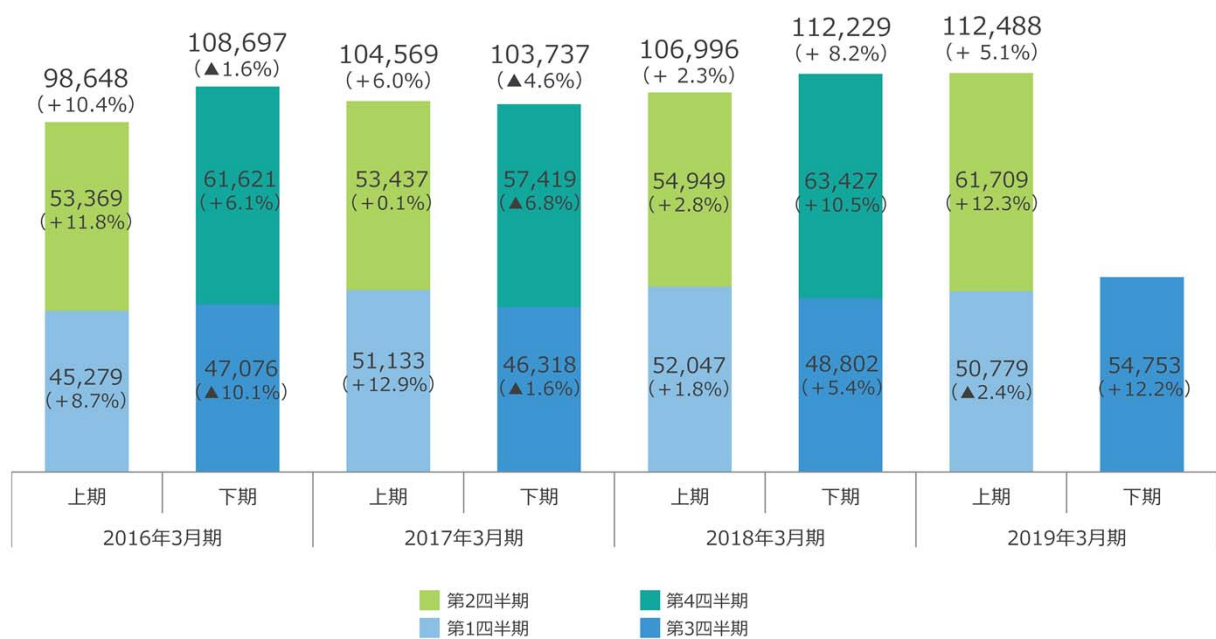
● 前年同期比 + 4,504百万円 (+6.6%)



- ・11ページからは受注状況を掲載しています。
- ・当期から開示を開始した運用等の受注情報については、すでにご案内しているとおり、半期毎の開示としていますので、第3四半期については「ソフトウェア開発」に係る受注情報のみとなります点、ご理解いただければと存じます。
- ・第3四半期累計期間の「ソフトウェア開発」に係る受注高は、金融ITにおける大型案件の反動減や特定顧客からの受注計上時期のずれの影響を吸収し、前年同期比7.3%増の1,672億円となりました。
- ・金融ITの特殊要因は第1四半期でも影響がありましたが、これによって全体がマイナスとなった第1四半期とは異なり、第3四半期はそれを吸収して大きく増加しました。
- ・特に決済、ERP、エネルギー等の分野で好調に推移し、その結果、期末受注残についても前年同期比6.6%増の724億円まで積み上がりました。
- ・以上が、第3四半期累計期間の実績に関する説明となります。

受注高の推移（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

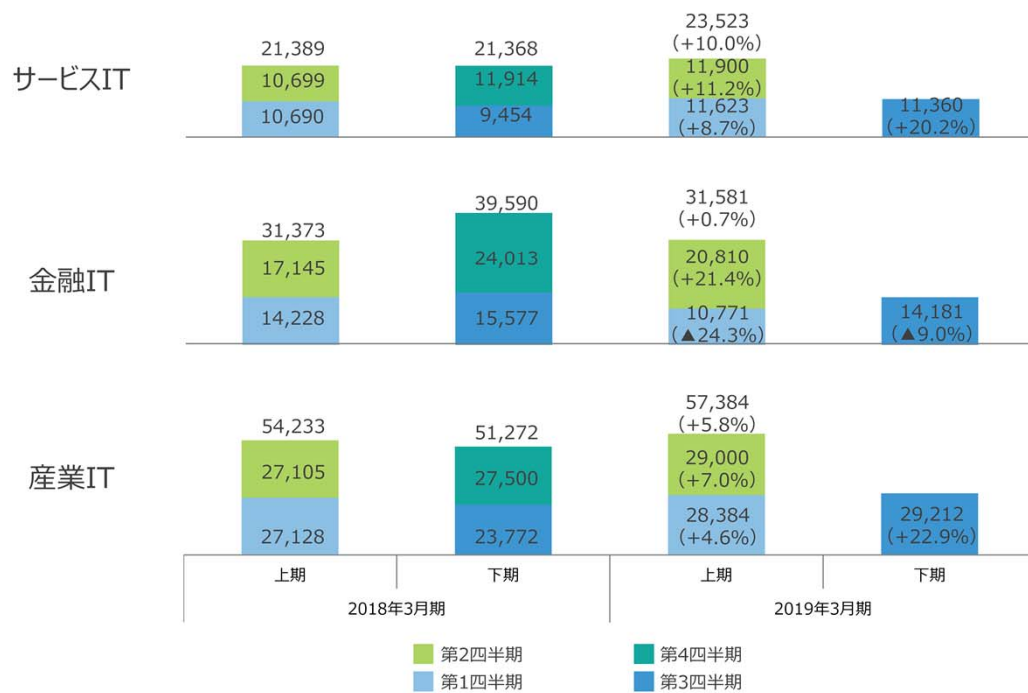
カッコ内の数値は前年同期比増減率。

12

（説明省略）

受注高の推移（ソフトウェア開発、セグメント別）

（単位：百万円）



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

カッコ内の数値は前年同期比増減率。

13

（説明省略）

2019年3月期第3四半期（累計） 業績概要

2019年3月期 業績見通し

参考資料

- ・なお、ここで1点、決算短信の記載について補足させていただきます。
- ・決算短信の末尾において、当社子会社に対して訴訟が提起された旨を記載しています。本件につきましては係争中のためこれ以上のコメントを控えさせていただきます点、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- ・それでは、最後に通期業績見通しについてご説明します。

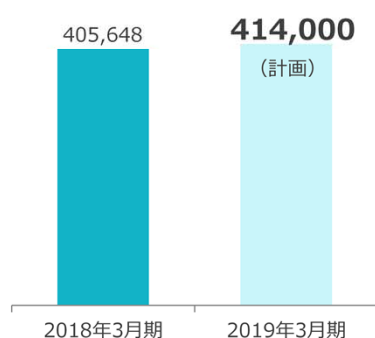
2019年3月期 業績予想ハイライト①

(単位：百万円)

- ・堅調な事業環境の中、大型案件の反動減を吸収し、増収増益を目指す。
- ・新中期経営計画で掲げる構造転換を推進するため、成長・得意領域へ積極的な投資を実行。
⇒期初計画値の変更はなし。

売上高

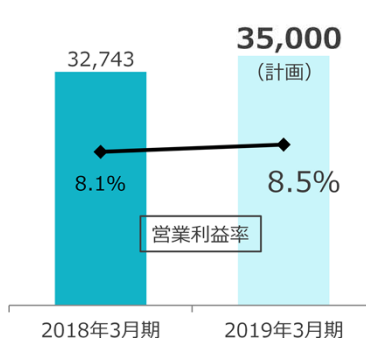
- 前期比+8,352百万円 (+2.1%)



サービスIT及び産業ITを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

営業利益

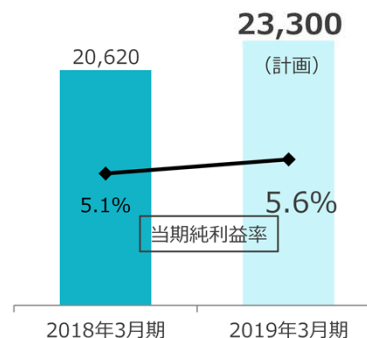
- 前期比+2,257百万円 (+6.9%)



増収効果、生産性向上等を継続推進。先行投資型へのシフト等、構造転換に向けた投資等のコスト負担増を吸収し、前期比増益を見込む。

親会社株主に帰属する当期純利益

- 前期比+2,680百万円 (+13.0%)



営業利益の増加や、特別損益の改善に伴い、前期比増益を見込む。

Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

15

- ・15ページをご覧下さい。
- ・2019年3月期の通期業績見通しについては、期初計画からの変更はありません。
- ・売上高は前期比2.1%増の4,140億円、営業利益は前期比6.9%増の350億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比13.0%増の233億円の増収増益の計画です。
- ・第3四半期累計期間での通期に対する進捗率では前年同期よりもよい状況にあり、通期計画達成への手応えも強まってきている状況です。
- ・現時点で大きな懸念事項を抱えているわけではありませんが、最後まで油断せずに、期初計画の達成に向けて取り組んでまいります。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

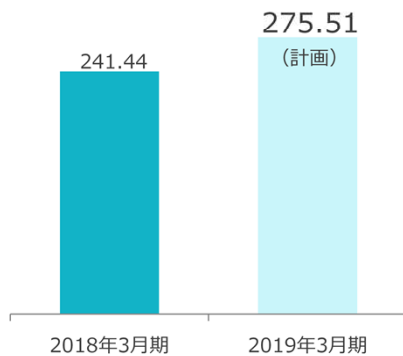
2019年3月期 業績予想ハイライト②

(単位：円)

・ROEは、初の10%超達成を目指す。

一株当たり当期純利益

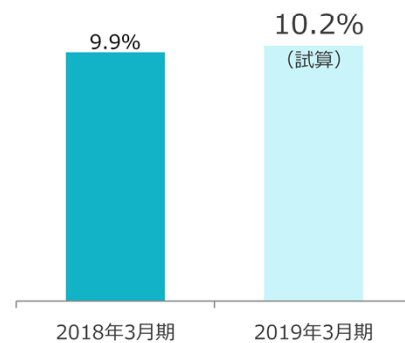
● 前期比 +34.07円 (+14.1%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、前期比向上を見込む。
(自己株式の取得に伴い、期初予想値から引き上げ)

自己資本当期純利益率 (ROE)

● 前期比 +0.3%

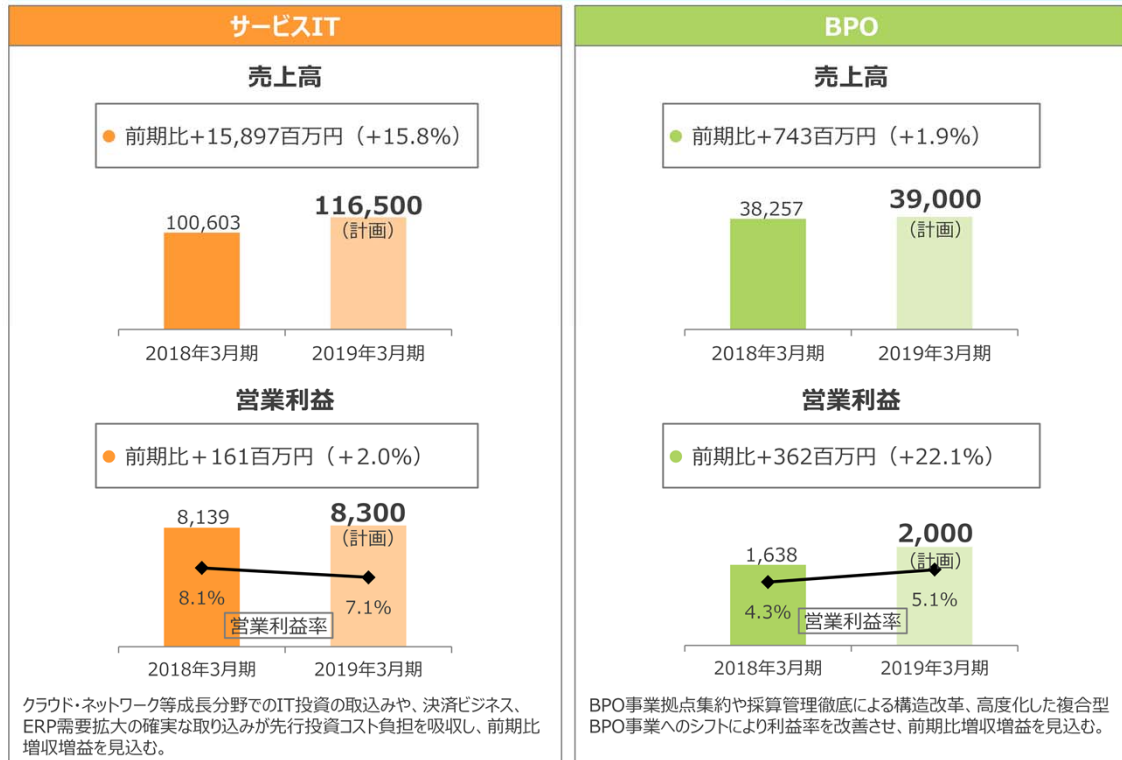


主として収益性向上により、さらなる向上を見込む。

(説明省略)

2019年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）①

（単位：百万円）



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

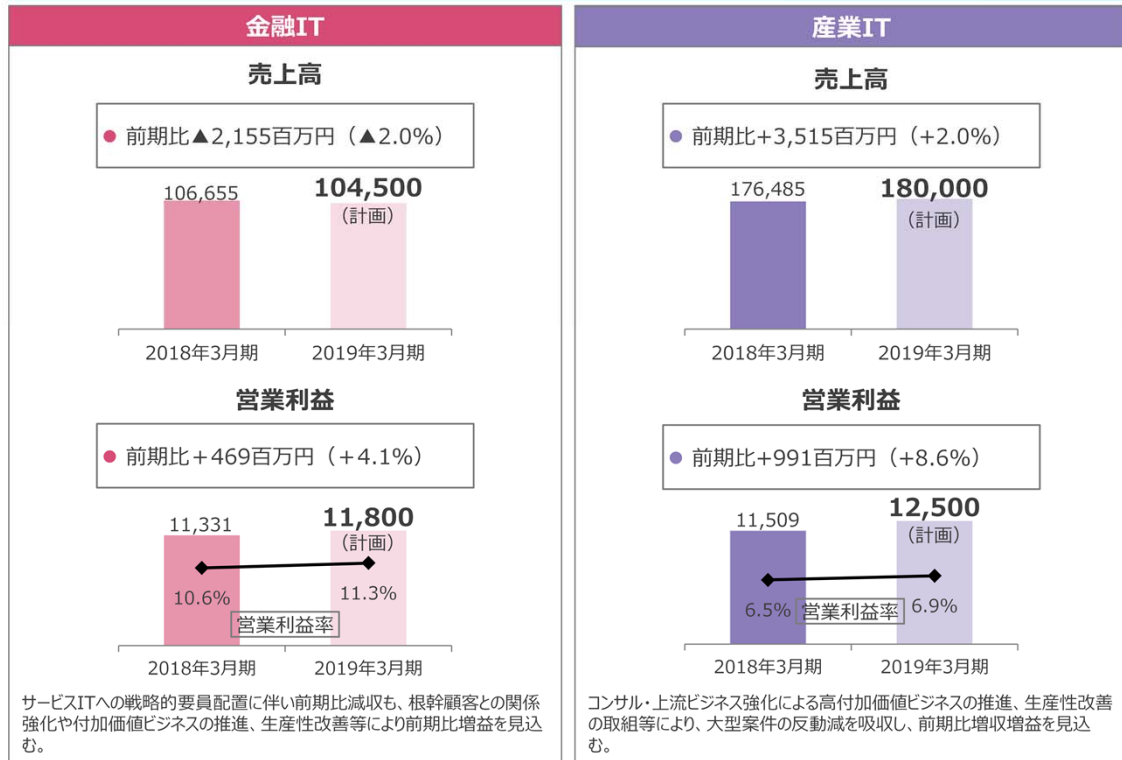
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

17

（説明省略）

2019年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）②

（単位：百万円）



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

18

（説明省略）

2019年3月期第3四半期（累計） 業績概要

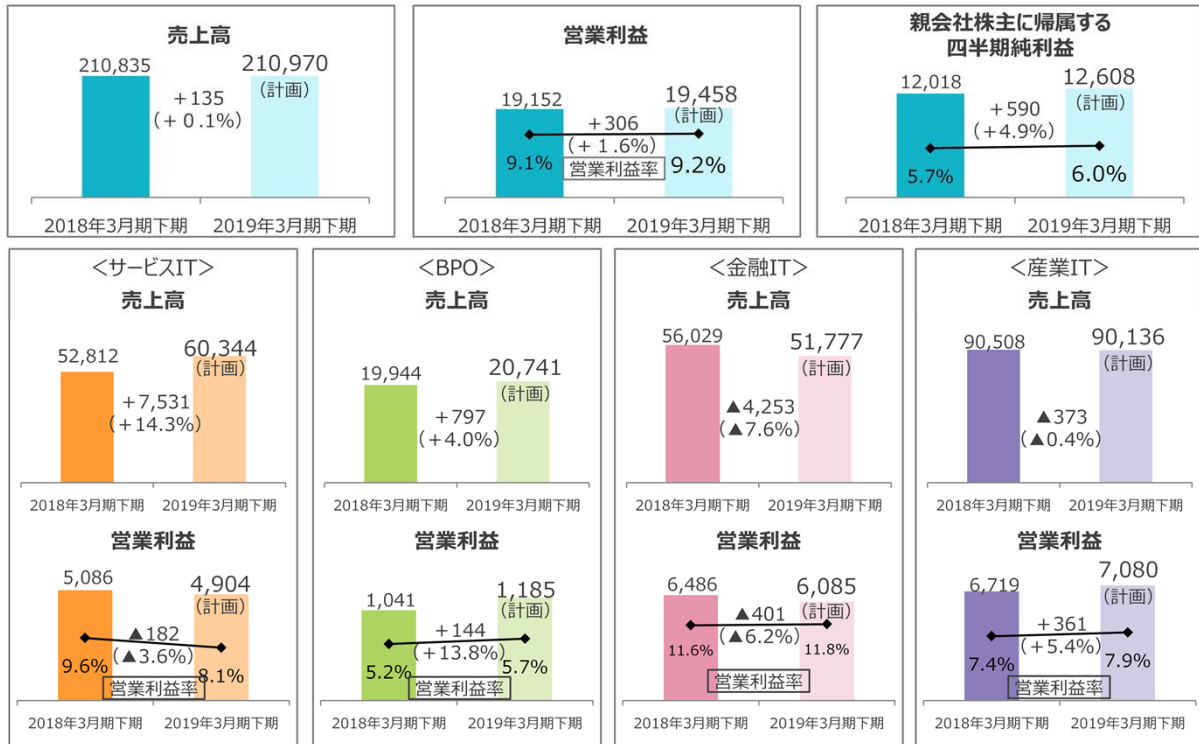
2019年3月期 業績見通し

参考資料

（説明省略）

2019年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期実績を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

20

（説明省略）

2019年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2018年10月1日	インテック、タワー 1 1 ビル スペシャルライトアップのお知らせ
2018年10月1日	TRUSTDOCKとネクスウェイ、両社サービスのAPI連携で、犯収法に準拠した本人確認における全行程をワンストップで実現
2018年10月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年10月2日	セールスロボティクスとネクスウェイ、新規リード自動獲得システム×DM発送でインサイドセールス強化を実現
2018年10月3日	アグレックス、データクオリティマネジメントの次世代ソリューション「トリリアムソフトウェアシステムV15」を提供開始
2018年10月3日	TIS、地図情報統合表示ソフトウェア「Ubisense myWorld」を提供開始
2018年10月5日	TIS、60歳以降も処遇制度が変わらない「65歳定年制度」を導入
2018年10月9日	TIS、アプリケーション開発ノウハウを提供するWebサイト「Fintan」を公開
2018年10月10日	クオリカ、IoT技術を活用したヘルメットマウント型ウェアラブルデバイス「iBowQube」を2018年11月より販売開始
2018年10月11日	TIS、ビッグデータを可視化して全体俯瞰できる解析プラットフォーム「toorPIA」提供のtoor社へ出資
2018年10月15日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年10月15日	アイ・ユー・ケイ、ハイブリッドクラウドでの運用統合に対応した統合監視システム『Monarch 1.5』をリリース
2018年10月16日	TIS、ロボットによる人の業務代行・分担を実現する「サービスロボットインテグレーション事業」を提供
2018年10月17日	マイクロメイツ、「Microsoft Teams」の教育サービスの提供を開始
2018年10月17日	TISとフィックスポイント、「標準トポロジモデルを応用したネットワーク構成の可視化に関する研究」を共同で開始
2018年10月18日	クオリカ、モスフードサービス・モスストアカンパニーにシフト・勤怠システム「TimeManagementQUBE」を導入
2018年10月18日	TISのプロセッシングサービスがMastercardおよびMastercardコンタクトレスに対応
2018年10月19日	インテックと富士通、地域金融機関のビジネス変革支援に向けて協業を開始
2018年10月24日	TIS、Office 365と連携し空き会議室予約のできる「AIアシスタントボット」をMicrosoft Teams上で提供されるアプリストアに無料公開
2018年10月29日	マイクロメイツ、Microsoft Office365のFAQをチャットボットで提供
2018年10月29日	インテック、デンソー岩手へAIを活用した「異常検知ソリューション」を提供開始
2018年10月30日	TIS、AWS上でスピーディーにチーム開発環境を構築するテンプレート『Collaborage（コラボレージ）』をOSSとして公開
2018年10月31日	T I S インテックグループのR&D部門を結集し、「グルーブラボラトリー」機能を開設

（説明省略）

2019年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2018年11月2日	インテックと大和総研ビジネス・イノベーションがデジタルマーケティングサービス分野における協業を開始
2018年11月5日	旭日産業が「SAP S/4HANA®」を採用、移行プロジェクトはTISの「SAP S/4HANA®のりかえサービス」を活用
2018年11月5日	クオリカ、トヨタグループのICTをサポートするTT Network Integration (Thailand) Co.,Ltd.と協業
2018年11月6日	TIS、自然言語処理・機械学習向けデータ作成ツール「doccano」をOSSで公開
2018年11月7日	ネクスウェイの『FNX e-受信FAXサービス』が第12回「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2018」ASP・SaaS部門支援業務系分野ベストイノベーション賞を受賞
2018年11月8日	TISとクリエイションラインが「コンテナ技術」活用サービスの提供に向けて協業
2018年11月13日	TIS、「VMware Cloud on AWS」の提供を開始
2018年11月16日	TIS、「カード業界コンソーシアム」の分散台帳技術（DLT）を活用した不正に関する情報共有の実証実験に参画
2018年11月20日	ACメディカル、「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」に対応した業務支援サービス開始
2018年11月21日	TIS、大手企業とスタートアップ企業のコラボレーションを目指す「TIS共創イノベーション・コンソーシアム」を開始
2018年11月22日	インテックとデータ流通推進協議会が「第6回データ流通推進フォーラム in 富山」を開催
2018年11月26日	TIS、分散型エネルギーを統合制御する仮想発電所向けサービス『エネLink VPP+』をクラウドで提供
2018年11月27日	インテックのクラウドサービス「EINS/SPS」、シスコ「AppDynamics」を月次サービス型で提供
2018年11月27日	TIS、東京駅の案内業務にAIを活用する実証実験に協力
2018年11月28日	インテック、富山第一銀行と共同でブロックチェーン技術を応用したデジタル通貨実証実験を開始
2018年11月28日	TIS、VR/ARでのリハビリテーション支援ビジネスを展開するsilvereye社へ出資
2018年11月29日	TIS、平成30年度「テレワーク先駆者百選」に選定
2018年12月3日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2018年12月3日	ネクスウェイ、『NEXLINKオンデマンド便サービス』の法人リストレナール機能をバージョンアップ
2018年12月4日	三井住友カードとTISが「銀聯QRコード決済」で提携
2018年12月4日	アドダイスとA J S、半導体工場・工程向けHORUS AI専用バージョン「HORUS AI for SemiCon-EX」クラウドサービスの提供について協業開始
2018年12月10日	インテック、スマートフォン・タブレット用アプリに特化した脆弱性診断サービスを提供開始
2018年12月12日	TISのDebitCube+、PrepaidCube+に、IWIのリアルタイム不正検知機能を搭載

（説明省略）

2019年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ③

発表日付	タイトル
2018年12月13日	インテック、INSネット提供終了を見据え、インターネットEDIの移行を推進
2018年12月13日	アグレックス、顧客情報に位置情報を付与して視覚化できる住所マスターのオプション製品「ADO-POINT」を販売開始
2018年12月14日	ネクスウェイ、電設資材業界を牽引する因幡電機産業(株)電材西日本事業部へ『FNX e-受信FAXサービス』を導入
2018年12月18日	TIS、企業分析AIサービス「Finplus」を DTFAと提供開始
2018年12月20日	TIS、サイバネットシステムとビッグデータ可視化ツールの販売代理店契約を締結
2018年12月21日	金融機関の営業力強化促進のためインテックとディサークルが協業
2018年12月25日	インテック、日本経済新聞社と業務提携し、地域金融機関の企業支援、提案力を強化
2018年12月27日	インテック、平成30年度「東京都スポーツ推進企業」に認定

(説明省略)



<ロゴマークに込めた思い>

新たな挑戦の場を表現する「オーシャンブルー」と、堅実さと確かな技術の裏付けを表現する「インテリジェントグレー」の2色で表現されるロゴマークには、私たちのコアコンピタンスである「IT」2文字を包含しています。グループ各社が異なるエキスパートであり、その集合体としてのTISインテックグループの一体感、そして未来へ向かって進み続ける躍動感を表現しています。

<ブランドメッセージ「Go Beyond」>

現状に満足せず、常に新たなチャレンジを求めて「その先に向かって」歩み続ける。クライアントの課題をクリアするだけでは満足せず、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして、「一歩進んだ提案をしていく」という当社グループの強い意思を表明しています。

(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- ・2019年3月期から構造転換の推進に向けた当社マネジメント体制の変更に伴い、セグメント区分を変更しています。2018年3月期の数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。

（説明省略）